

地方自治ジャーナリスト

## 相川 俊英 氏



### 【プロフィール】

1956年群馬県生まれ。早稲田大学法学部卒。

放送記者、フリージャーナリストを経て、1997年から週刊ダイヤモンドの委属記者。

1999年からテレビ朝日系の報道番組「サンデープロジェクト」の番組ブレーンを務め、自治体関連特集の企画、取材、レポートを担当。60本以上の特集に関わる。現在も地方自治体の取材で日々全国を駆け回り、「日本一、首長に直接取材している記者」と言われる。

主な著書：

『反骨の市町村～国に頼るからバカを見る～』 講談社

『相川俊英の地方自治“腰砕け”通信記』 ダイヤモンドオンライン

『相川俊英の地方取材行脚録』 Japan In-depth

### 【選定理由】

「日本一、首長に直接取材している記者」として独自の視点「タリキノミクス」「ジリキノミクス」で層別し、地域が自立しようとする意気込み・戦略と実際の財政力から地域の成功、失敗事例を非常に分かり易く層別しています。国と地域の対比、現在の社会構造の中で地域がどのような状態に陥っているのか、地域が取るべき心構え、そして独自性を活かしたオンリーワンの戦略について豊富な知識を持って伝えていただくことが出来ます。また、地域活性化の主役は地域住民であると提言しており、市民先導のまちづくりというテーマにも合致します。例え完璧でなくとも民間が一步踏み出し政策立案をすることを重視しており、「地域再興政策コンテスト」の取り組みとベクトルが一致し、政策コンテストの今後の活用方法への有効な道筋を示すことが可能です。